

普及活動情勢報告（平31年4月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

集荷はまっことありがたい！！ ～直販所‘楽市’による庭先集荷～



「資料が大きくて見やすいね」

室戸市羽根町中川内・大岸地区での「野菜は作れても自分で出荷することができない!!」との声に応えるため、平成29年から国の農山漁村振興交付金を活用して道の駅の直販所‘楽市’が生産者の庭先集荷を行っています。

3月21日、農業改良普及課室戸支所は、出荷してる生産者に対して農薬の安全使用講習会を開催し、13人が参加しました。

農薬誤使用のリスクについての話の際には、全員が引き締まった顔でうなずきながら聴き入って、理解を深めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も講習会や現地検討会を開催し、関係機関とともに地域活性化を目指して幅広く支援します。

環境制御で収益アップ！ ～穴内支部園芸部園芸研究会ナス部会～



現地実証の報告をする
普及指導員

3月27日、穴内支部園芸研究会ナス部会が現地検討会をほ場3ヶ所で、勉強会を穴内集出荷場で行い、17人が参加しました。

農業改良普及課は、安芸地区で実施している「促成ナスのオランダ型参考温度管理の現地実証」の状況、「湿度制御によるナス黒枯病低減技術の普及に向けた取組」について講習をしました。

生産者からは、「これからの時期は光に合わせて水を増やさんといかんね」といった意見が出ました。

農業改良普及課は、今後もコストと収益の観点も考えながら環境制御技術による増収・品質向上を目指して指導します。

中芸地区に新品目の定着を！ ～葉ニンニク栽培検討会～



「美味しい葉ニンニクが
できるとえいね～」

4月4日、中芸集出荷場2階会議室で園芸研究会開発部会を開催し、3人の栽培予定者と関係機関で葉ニンニクの振興について協議しました。

農業改良普及課は、前年度の試作結果や本年度の計画について説明しました。

前作の反省を踏まえ、本作は定植の9月末への前進化や時期の分散に取り組むことで、年内からの継続出荷を目指し、面積も拡大する見込みとなりました。

農業改良普及課は、葉ニンニクの産地化を目指し、生産者の所得向上につながる取り組みを推進します。

アザミウマの侵入をブロック！！ ～ブルースター部会現地検討会～



「ヒラズハナアザミウマが湧いて困るわ～!!」

4月4日、芸西村のブルースター部会が現地検討会を開催し、生産者7人が参加しました。

農業改良普及課は、アザミウマ類防除対策の指導を目的に、3月以降の屋外でのアザミウマ類の発生推移、光反射性防虫ネット設置による防除効果、UVカットフィルムの設置などについて説明しました。

生産者からは、「風通しも良さそうやし、導入してみようか」といった声が聞かれ、防虫ネットの設置に向けて導入啓発することができました。

農業改良普及課は、今後も引き続き、花き栽培でのIPM技術の確立に向けて物理的・耕種的防除方法について指導します。

「農福連携高知県サミットinあき」の開催に向けて ～安芸市農福連携研究会～



関係者が一堂に

安芸農業振興センターはJA高知県安芸地区、安芸市、県安芸福祉保健所、障がい者就労・生活支援センター「ポラリス」で安芸市農福連携研究会を結成しており、毎月定例会で、立案や活動、情報共有を行っています。

4月9日には今年度最初の定例会が開催され、新しいメンバーの自己紹介等が行われた後、6月14日開催予定の「農福連携高知県サミットinあき」の具体的な内容について検討しました。農業改良普及課からは農業サイドから農福連携の講演ができる方のリスト提示や農業会議との共同開催の提案などを行いました。

農業改良普及課では、今後も研究会活動に参画して、農福の相互理解が深まるよう「農福連携高知県サミットinあき」の開催に向けて支援します。

室戸市庄毛地区で小学生と保育園児の田植え学習体験



昔懐かしの「ころがし」を使って植えました

4月12日、室戸市庄毛地区で吉良川公民館主催の田植え学習体験が行われました。吉良川小学校5年生10人と吉良川保育園年長組12人が参加し、もち米品種「ヒデコモチ」の田植えを行いました。

農業改良普及課室戸支所は地元の水稲農家やJA営農指導員とともに苗の植え方を指導しました。あいにくの曇天で強風が吹く中、子供たちは「寒い寒い」と鳥肌を立てながらも、手植えしていた時代の「ころがし」を使って楽しそうに田植えをしました。最後に農業改良普及課室戸支所は、通学の途中などに生育や病害虫の発生状況など興味を持って観察してほしいと説明しました。できあがったモチ米は餅にして食べる予定になっています。

農業改良普及課室戸支所は引き続き食育学習の一環として、8月の稲刈り時にも支援します。

「なすぶうの餃子」初披露！ ～女性部なすっこ組～



「なすぶうの餃子」

上手に焼けたかな？

4月17日の「なすび記念日」に、道の駅大山でJA土佐あき女性部なすっこ組と安芸市消費拡大委員会が合同で、新しいナス料理の紹介とナスの消費拡大PRを行いました。

農業改良普及所は、のぼり旗やPOP表示等でなすび記念日をPRできるように支援しました。

初めてのイベント販売で、購入者からは「餃子のナスが甘く、ジューシーな味わい」と好評でした。一方、課題として焼き上がりに時間がかかり待たせたので、待たせない焼き方や保温の工夫、また加工時に10個単位で保存することなどが浮き彫りになりました。

農業改良普及所は、9月にオープンする「とさのさと」に隣接する9月オープンの複合施設「一町いったん」で販売できるように商品づくりを支援します。